

# 地域(区)における自治の深化に向けて<区民との協働>

資料 2

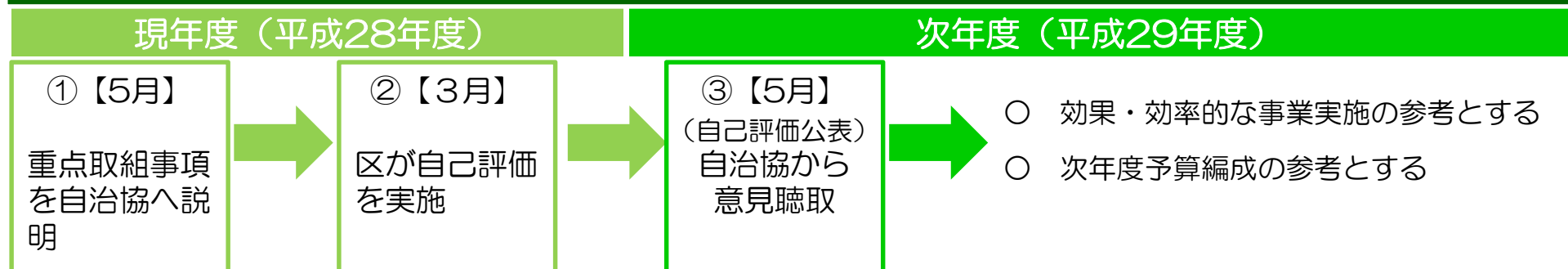
## 区自治協議会とのさらなる協働の推進

### 2 連携によるまちづくり (1) 区政運営にかかる評価の仕組みづくり

#### 区政運営にかかる評価の仕組み (案)

対象	区の重点取組事項	定義	【評価の定義】区が自ら行う区役所評価の透明性と客観性を高め、今後の区政運営の参考とするため、協働の要である区自治協議会から区の自己評価の妥当性を確認してもらうとともに、必要に応じて改善すべき点などについて意見を聴取する。(参考意見聴取)  区自治協議会条例第7条の規定により意見を述べることをもって評価とする。
方法	区の自己評価を補う形で区自治協議会より意見聴取		

#### スケジュール (案)



# 平成27年度 南区長マニフェスト

南区長 渡辺 稔

## マニフェスト

現在の南区は人口減少と高齢化が急速に進行して、地域の最重要課題となっています。国の「まち・ひと・しごと創生本部」の設置を受けて、南区の活性化のため地域の魅力発信や地域力の活用を図る必要があります。

南区では、豊かな大地の恵みである「食と花」、長い歴史に培われた伝統文化や匠の卓越した技など、多くの「地域魅力」があります。そこに今まで培った地域力を活かして、防災力の強化や、超高齢社会への対応、子育て支援など、新区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。

この方針のもと南区は今年度、以下の4つの取組を重点的に実施します。

1. ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちづくり
2. 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちづくり
3. 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちづくり
4. 大凧が舞い、獅子が跳ね、ルレクチュエが実るまちづくり

## マニフェスト実現に向けた取り組み

### 1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

現状 (課題)	区民の防災意識は高く自主防災組織は市内でもトップクラスの結成率となっていますが、災害時に機能する自治会単位の要援護者支援や避難所運営など、地域の防災力向上に向けた活動の推進が必要となっています。 子育て中の保護者の孤立化と育児不安・ストレスなどの問題が発生しています。 超高齢社会を迎え、医療施設や介護施設の受け入れも限界が予想される中、在宅医療の支援体制について整備が求められています。	
	目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「安心して、快適に暮らすまちづくり」「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」「区民や地域が主役となるまちづくり」の取り組みを中間達成
課題解決策	災害発生時の実効力を高めるため、避難所運営マニュアルを見直し、防災意識を高めます。また、地域との連携がスムーズに機能することが重要であることから検証を行い、区民と行政が共に減災に向けたまちづくりを進めます。 人口減少・超高齢社会への対策として、地域における高齢者の元気な暮らしを支える仕組みづくり、子育て支援、学校との連携を推進します。	
主な取組	【防災】 ・南区総合防災訓練の実施 【健康・福祉】 ・障がい者農業体験 ・「地域で子育て」を応援 ・高齢者を地域で支えるモデル事業	

	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	4
取組結果	<p>減災に向けたまちづくりを進めるため、コミ協と警察・消防など関係機関と協働で情報伝達、避難所運営を中心とした南区総合防災訓練を実施し、災害時の連携と地域防災力の向上を図りました。</p> <p>障がい者と保育園児と一緒に播種から収穫までの農作業を体験することで、交流を通じた社会参加と就労意欲の醸成に取り組みました。</p> <p>少子高齢化が進む中で子育ての課題については、地域の子育て支援リーダー（オーエンジャー）による子育て広場を開催し、子育てに不安や悩みを抱える保護者の支援に努めました。</p> <p>また、地域包括ケアシステム構築を見据えて、高齢者が抱える課題について地域で支える各コミ協の要望を聞き取り、資料提供、研修会の開催などの支援を行いました。結果として1地区のみ事業化を進めることになりました。</p>				
今後の方針	<p>次年度も総合防災訓練を実施し、地域の防災力向上に向けた取り組みを進めます。障がい者施設と連携して、障がい者の自立に向けた活動を支援します。少子化対策・子育て支援として、オーエンジャーによる子育て広場の充実を図ります。地域で高齢者を支える仕組みづくりを構築するため、モデル事業を支援していきます。</p>				

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。	
現状（課題）	<p>区内に軌道系の公共交通機関がなく、主にバス運行が区民の重要な移動手段となっています。</p> <p>区バスや住民バスについて、運行頻度やルートに対して改善要望があるものの、利用者は伸びておらず、効率的な交通システムの構築が困難な状況にあります。</p> <p>都市基盤となる幹線道路の適切な維持管理により車両の走行性の改善や歩行者の安全性の向上、橋梁施設の長寿命化に努めています。</p>
課題解決策	<p><b>目標</b> 平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「交通の利便性の高いまちづくり」の取り組みを中間達成</p> <p>区バスについては国道8号線を基軸とし、都心や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高めます。また、まちなか循環バスの社会実験を実施しまちなかの活性化の検証を行います。</p> <p>国道8号バイパス全線供用後の現国道8号の安心安全な空間の創出とにぎわいを区民の意見を反映し支援します。</p> <p>基幹道路と橋りょうの維持管理については、早期の点検・補修を実施し、長寿命化を進めます。</p>
主な取組	<p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区バス運行事業</li> <li>・まちなか循環バス社会実験</li> </ul> <p>【道路・橋りょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号道路空間創出計画の策定</li> <li>・幹線道路と橋りょうの適切な維持管理</li> </ul>

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	2
取組結果	<p>南区の課題である公共交通の確保については、区バス社会実験で市街地の移動について循環バスを導入したが、効果が上がらなかった。また、区民から要望のあった県央（三条・燕）方面へのバスについてアンケートを実施して、意向の把握に努めた。</p> <p>国道8号道路空間創出計画の策定は、地域や各種団体との協議結果を含め、庁内検討会議で取りまとめた南区案を国に上げました。道路橋梁の適切な維持補修に向けた上半期の工事発注率は、前年度を上回りました。</p>				
今後の方針	<p>公共交通については、循環バスについては、区バスとの併用により便利さをPRするなど利用啓発に努め利用者の増加につなげます。また、燕・三条方面のアクセスについては、アンケートを精査し、社会実験の可能性を検討します。</p> <p>国道8号空間創出計画については、新潟国道工事事務所・地域・区役所で協議をする場を設けて事業案を計画に結びつけます。工事については、スケジュール管理を行い効率的な発注に努めていきます。</p>				

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。	
現状（課題）	<p>農業従事者の高齢化が進み、担い手が減少しています。</p> <p>消費者と農業者の交流の場、あるいは農業体験の場を設定し、農産物「食と花」を大いにPRしながら、来て見て買って食して楽しんでいただく取り組みや農産物を活かして農商工連携による食品の高付加価値化が進んでいないため6次産業化の推進が求められています。</p> <p>南区で盛んな果樹・切り花などの園芸や畜産の生産性を高めるために「食と花の名産品」として指定し、市内外に広くPRを行っていますが、生産量は増加していない現状です。</p> <p>商店主の高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗、更地が目立つなど、まちなかの活力が失われつつあることから、南区の商業の中心である白根地区商店街に元気を取り戻し地域商業の拠点として強化することが必要です。</p>
課題解決策	<p><b>目標</b> 平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」「いきいきと働けるまちづくり」の取り組みを中間達成</p> <p>農業者と消費者の交流の拠点施設であるアグリパークと連携して、食育・農業体験をはじめとした農村・都市交流に取り組みます。</p> <p>また、農業活性化センター、食品加工支援センターと連携し地域ビジネスの展開や新たな雇用創出を図るとともに拠点商業地活性化推進事業に取り組みます。</p>
主な取組	<p>【農業】【産業・まちなか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農商工連携がっちりプロジェクト</li> <li>・ニューフードバレー拠点化推進事業</li> <li>・南区資源循環事業</li> <li>・拠点商業地活性化推進事業計画の実施</li> </ul>

	主な取組の指標達成状況	設定数	8	達成数	6
取組結果	<p>流通が難しい規格外農産物を農商工連携による付加価値をつけた商品開発の試作を実施し、来年度に2つの商品化が予定されています。安心安全な農作物を届けるため、資源循環事業として水田にたい肥散布する資源循環事業を実施し、北陸農政局より表彰されました。</p> <p>白根商店街の元気と活性化を目指し、白根町屋歩きや空き店舗をカフェなどに活用する事業に取り組みました。</p>				
今後の方針	<p>6次産業化・12次産業化につながる事業に取り組み、地産地消や新たな商品開発を進め雇用の創出を図ります。環境保全型農業を確立するため、たい肥散布に加え、果樹剪定枝についても再生利用可能な方策を検討します。白根商店街が貴重な町屋であることから、引き続きまち歩きを開催するとともに、空き店舗の活用など商店街の活性化を図ります。</p>				

4 大凧が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちを目指します。	
現状 (課題)	<p>歴史と伝統を誇る白根大凧合戦、重要文化財笹川邸などの観光資源、財産を有機的に結合し、南区の魅力をさらに磨きあげて、これを交流人口の増大につなげるとともに多彩な地域の宝ものを大切に受け継ぎ、保全を図る必要があります。</p>
課題解決策	<p><b>目標</b> 平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」の取り組みを中間達成</p>
	<p>白根大凧合戦、笹川邸、郷土芸能角兵衛獅子、そのほか地域固有の文化施設や伝統行事に「食」を組み合わせた観光プランなどを構築し、アグリパークの宿泊施設を利用することで通過型観光から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>また、地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保全と活用を図り次世代へ継承します。</p>
主な取組	<p><b>【観光】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来てきて笹川邸</li> <li>・リン輪、ぐるっと南区めぐり</li> <li>・みなみ〜て南区魅力発信事業</li> </ul> <p><b>【文化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笹川邸保存活用計画の策定</li> </ul>

	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	0
取組結果	<p>2か年事業で保存活用計画策定中の笹川邸の入館者数は、「水と土の芸術祭」と連携し魅力をPRするイベントなどを実施したが、目標に到達はしませんでした。南区の観光スポットを自転車めぐり事業は、サイクリングマップを活用するなどPRに努めた結果、市内外からの参加者は前年を上回りました。</p>				
今後の方針	<p>笹川邸の保存活用計画の策定に合わせ、魅力をPRする事業を展開し入館者の増加を図ります。交流人口拡大を図るため、南区PR大使やホームページ、SNSの効果的な活用を進めます。</p>				



平成27年度 南区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標				H27結果
1	総務課	地域住民との協働で、安心できる安全なまちづくりを進めます。	・南区総合防災訓練の実施 ・中学校防災教室 ・小学生防災キャンプ ・避難所運営マニュアルの検討 ・自主防災訓練の支援	コミ協の総合防災訓練参加数(参加コミ協数)	—	1	—	12	12	・今年度実施を予定している南区総合防災訓練に区内12のコミ協から訓練に参加してもらう。 ・自主防災組織未結成地区に働きかけ結成を促し、災害時の防災体制を整える。(世帯ベース)	7/5に総合防災訓練を実施し、全コミ協で約1,000人参加がありました。	達成
				自主防災組織の結成率(%)	91	91	91	95	98.8		H28.1現在で、13,761世帯の加入(全世帯数13,923戸)がありました。	達成
2	健康福祉課	障がい者が「農」に対して親しみ、就労に対する意欲の向上を推進します。	・農作物の播種から収穫までの作業体験 ・保育園児との共同作業を通しての交流実施	作業の延参加者数				200	228	・1回につき10名参加可能 ・4月から11月まで23回実施	障がい者と保育園児と一緒に播種や収穫の農作業体験を行い、収穫祭などの行事で交流を図りました。	達成
3	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	・子育て広場の開催(地域で子育てを応援) ・子育て広場交流会の開催 ・NPプログラムの開催	子育て支援リーダーによる子育て広場の開設回数と広場への参加者数(回・人)		9 (203)	20 (495)	30 (600)	26 (716)	子育てオーエンジャーによる子育て広場を開催	昨年度よりも会場が4か所増の9会場で開催し、参加者数の目標を達成しました。参加者からは「とても良かった」「また参加したい」と高評価をいただきました。	達成
4	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	・各地域における高齢者を見守り支援する仕組みづくりを支援 ・高齢者を地域で支えるモデル事業の実施	地域における具体的な仕組みづくりの事業計画立案数			2	5	1		12コミ協の要望を聴取し、資料提供などの支援を行い、仕掛ける地域の選定を行いました。月湯地区のボランティアグループと配食事業者とのマッチングを行い、配食サービスを継続することができました。 講師を招き、地域包括ケアシステム構築について専門職や職員向けの研修を2回、地域住民及び協議体構成員向けの研修を1回実施しました。	未達成

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標				H27結果
5	地域課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	・区バス運行事業 ・住民バス補助 ・まちなか循環バス社会実験	区バス利用者数 乗合タクシー利用者数 利用者計(人)	25,484 784 計26,268	24,285 1,763 計26,048	24,245 2,487 計26,732	26,200 2,800 計29,000	24,150 2,218 計26,368	・区バス利用者数は社会実験運行分含む ・都市交通政策課が燕・三条方面及びJR各駅へのアクセス検討	区バス利用者数、乗合タクシー利用者数は前年度より減少しましたが、利用者数は目標の90.9%を達成しました。 12月からまちなか循環バス社会実験を実施。燕・三条方面へのアクセス検討のため、年度内にアンケート調査を実施しました。	概ね達成
				バス社会実験				検討・実施	検討・実施	達成		
6	建設課	国道8号バイパス供用後の国道8号現道市道移管後の新たな道路空間創出への再編をめざします。	・安心・安全な生活道路空間と、地域の賑わいと活性化を支援する道路空間創出のため、地元住民や関係団体等の意見を反映	道路空間の計画策定				道路空間の計画策定	道路空間の計画策定中	・国との協議を進め、地域住民や地元関係団体等との協議を2～3回開催し、意見を把握し道路空間創出に反映させる	国が作成する基本計画の作成が遅れており、地域との協議ができない状況でしたが、区役所内の職員案を3月に提出しました。	未達成
7	建設課	道路・橋りょうの計画的な整備・維持補修を行い、住みよいまちづくりに努めます。	・定期的な工事の執行管理 ・発注計画の確認と点検	上半期(4～9月)の工事発注率(工事予算ベースの発注率)	78	79	57	75	77	・上半期の工事予算ベースの発注率	関係機関との協議を早期に完了させ、上半期工事発注率は77%と目標を達成しました。	達成

3 農工商の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標				H27結果	
8	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。	・農工商連携がっちりプロジェクト事業	一次加工品の試作(品)					5	5	・農協、商工会、企業、農業者、行政などが、一体となって推進 ・農業活性化研究センター、食品加工支援センターとの連携	南区産の食材を使った一次加工品(横ベース、ドライマト、かきのもとパウダー、小松菜パウダー、乾燥しめじ)の試作を実施しました。また、未利用ルレクチエを活用したルレクチエ水の試作(JA新潟みらい)にも支援しました。	達成
				研修会の実施(回)			2	3	3	4つのプロジェクトチームを結成し、検討会を15回、研修会3回開催しました。		達成	
9	産業振興課	南区の農産物を基盤とする食品産業の誘致や創業の支援を通して、雇用の拡大と定住人口の増加を目指します。	・ニューフードバレー拠点化推進事業	南区での企業説明会への参加企業数(社)				10	2	・企業説明会への参加企業数は、2回の説明会の合計延べ参加社数とする。	企業432社へビジネスニュースを発行し、興味を示した会社に企業説明会を実施しました。その結果、東京の食品加工会社が南区産の規格外の桃でジャムを試作し、大手パンメーカーが新潟限定販売を決定したと聞いています。	未達成	
				企業向けビジネスニュースの発行数(回)		1	4	4	また、会津の和菓子等の製造小売会社が、新潟市内に出店を計画の動きがあります。(イチゴとルレクチエに興味)		達成		
10	産業振興課	消費者に安心・安全な農産物を届けるために、環境保全型農業を推進するとともに、多面的機能の維持向上のため、農地の環境保全を進めます。	・資源循環事業 ・環境保全型農業直接支払交付金事業 ・多面的機能支払交付金事業	たい肥施用水田面積(%)		60	87	97	97	・環境保全型農業直接支払交付金の対象面積のうち、たい肥施用水田面積とする。 ・南区水田面積:5,639.9(土地改良区賦課面積)	資源循環事業などを通して把握している水田での堆肥散布面積は124haとなり、北陸農政局環境保全型農業推進優良事例表彰を受賞しました。 多面的機能支払交付金の活動組織を中心に水害に効果が高いとされる外田んぼ沼の取組みを推進しました。	概ね達成	
				田んぼダム実施面積(%)			2,800	2,571				達成	
11	産業振興課	拠点商業地活性化推進事業計画を着実に実施し、商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化事業計画 ・水と土の芸術祭市民プロジェクト	商店街を中心としたまちあるきの開催回数(回)				2	4	・白根町屋歩き、ボランティアガイド養成講座でまち歩きを実施しました。 ・がんばるまちなか支援事業で2件、創業サポート補助金で1件、国の創業補助金で1件、その他に2店が空き店舗等を利用オープンしました。	水土木市民プロジェクト「白根まちオモイワークショップ」、	達成	
				拠点商業地内の空き店舗を利用した新規出店や交流スペースの整備(か所)				1	6			達成	

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標				H27結果
12	地域課	重要文化財笹川家住宅(笹川邸)の保存・活用の向上に努めます。	・文化庁の指針に基づく「重要文化財(建造物)保存活用計画」の策定 ・「来て来て笹川邸」など、魅力をPRするイベントを増やすことにより認知度を向上	入館者数(人)	8,695	5,232	5,732	9,000	6,944		前年度実績を1,200人(21%増)ほど上回りましたが、目標は達成できませんでした。 区PR大使の任命など、より集客力のある企画に着手中です。 旧笹川家住宅保存活用計画の策定については、計画支援業者の調査結果をもとに検討委員会を2回実施し、平成28年度完成となる計画の方向性と課題について協議を行いました。	未達成
13	地域課	文化・スポーツ・観光が一体となってまちづくりを進めます。	・サイクリングイベント(リン輪・ぐるっと南区めぐり)の開催 ・イベントコースに主な文化・観光施設を取り入れ、農産物や施設をPR ・サイクリングコースを活用した健康づくりの推進	イベント参加者数(人)	—	—	149	250	239	・平成26年度から産業振興課と共同で開催 ・平成24・25年度に特色ある区づくり事業で作成したサイクリングマップの活用	アグリコース90人、めぐりコース149人の参加があり、前年度比で60%増となりました。今後はサイクリングを南区民の健康づくりの一環として展開を図っていきます。	概ね達成
14	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	・みなみ〜南区魅力発信事業 ・南区観光協会補助金 ・指定管理者による自主事業	しろね大風と歴史の館への入館者数(人)	15,059	15,580	16,462	18,500	17,654	・しろね大風と歴史の館への入館者数は、有料・無料を含む総観覧者数とする。	香港の旅行会社(EGLツアーズ)を中心に海外客が増加(*1月未まで、51回、1,362人)しており、有料入館者数は前年度比で1,064人増えて初の増加に転じました。	概ね達成